

## 飛鳥資料館夏のイベント 「つくろう!!ミニチュア玉枕」

飛鳥資料館では、歴史を身近に、気軽に楽しんでもらう取り組みの一つとして、昨夏から子供も参加しやすいイベント「つくろう!!ミニチュア玉枕」を帝塚山大学の牟田口章人教授の協力を得て、開催しています。

玉枕は、一本の銀線でガラス玉を編み上げた枕です。阿武山古墳(大阪府高槻市)の副葬品で、十分な調査もされないまま埋め戻されたため、飛鳥時代につくられた玉枕の実物を見ることはできません。そこで、牟田口氏らは綿密な調査研究によって玉枕の復元品を製作し、飛鳥資料館に寄贈されました。

今回のイベントでは、ビーズで玉枕の編み方を体験します。製作にあたっては、わかりやすい作り方の説明、会場の雰囲気づくり、そしてスタッフの体制にこだわりました。特に、カラフルな模式図や写真を多用した飛鳥資料館オリジナルの玉枕づくりマニュアルは、「わかりやすい」と好評で、なんと1時間弱で完成させた参加者もいたほどです。

さらに、玉枕づくりをただの「工作体験」ではなく、飛鳥時代や歴史への「学び」につなげるため、イベントの冒頭で、1日目は牟田口氏による玉枕の解説、2日目は小学校低学年にもわかりやすい飛鳥時代の解説をしました。飛鳥時代の解説では、子供たちの発言も相次ぎ和気藹々とした時間を過ごせました。

アンケート結果をみてもイベントの満足度は高く、また、飛鳥資料館を知らなかった・初来館したという参加者が多数を占めました。今後も飛鳥資料館では、歴史や文化財の魅力が体感できるイベントや展示活動を企画していきます。みなさま、ぜひ足をお運びください！  
(飛鳥資料館 西田 紀子)



完成したミニチュア玉枕と記念撮影